

【国際シンポジウム】

日時: 12月15日(土) 15:00～17:30

会場: 東海大学高輪キャンパス 2号館大講堂

テーマ: 知の会話・境界を越えて

趣旨: 室内環境学会(SIEJ)は、韓国室内環境学会(Korean Society for Indoor Environment (KOSIE))および台湾室内環境品質学会(Taiwan Society of Indoor Environmental Quality)と学術協定を結び、アジアの室内環境を対象とした学術交流を計画してきました。今回、この日韓台の学術交流に基づく第1回目の合同国際シンポジウムを開催します。

プログラム:

1. 開会宣言

2. 基調講演

小野雅司(日本室内環境学会会長, 国立環境研究所)

3. 講演: Recent Policies and Research Activities on Indoor Environment in Korea

Yoon Dong-Wong(韓国室内環境学会会長, 嘉泉大学教授)

4. 講演: Indoor Air Quality Management in Taiwan: Development, Current status, and Future perspectives

Lee Chia-Wei(台湾室内環境品質学会, 国立高雄第一科技大学教授)

5. 講演: Trends and Emerging Indoor Environment Issues in Japan - Based upon 17 Years

Experiences of the Society of Indoor Environment, Japan (SIEJ)

中井里史(日本室内環境学会, 横浜国立大学教授)

6. パネルディスカッション

コーディネーター: 関根嘉香(東海大学教授)

7. 閉会宣言

言語: 英語

【学生懇談会】

日時: 12月15日(土) 13:00~14:30

会場: 東海大学高輪キャンパス 1号館 1203 教室

テーマ: Challenge

世話人: 高橋万葉 (学生会員、東海大学大学院理学研究科)

高野大地 (学生会員、日本大学大学院理工学研究科)

趣旨: 学生懇談会は今年で4回目を迎えます。学術大会に参加する学生の数も年々増加しており、この学生懇談会も学術大会の企画の一つとして定着してきました。さて今年のテーマは“Challenge”です。学生にとって学術大会は、研究成果を発表する場であり、また最先端の研究成果に触れる機会です。教室の中だけでは得られない多くの学びがあります。しかし私たち学生参加者は、本当に学術大会をフルに活用しているのでしょうか？そこで今年は、学生が学会・学術大会をもっと利用する方法について意見を出し合ってみたいと思います。ランチ形式で行いますので気軽に参加してください。

主な内容: 1) 開催趣旨説明 (学生世話人)

2) 参加者自己紹介

3) グループ討議

4) グループ別発表

5) まとめ

※12月16日 15:45 より口頭発表 (B会場: 1203 教室)

事前予約: 不要

備考: お弁当持込み可、筆記用具持参のこと

【公開講座】

日時: 12月16日(日) 16:30~18:30

会場: 東海大学高輪キャンパス 2号館大講堂

テーマ: 室内環境学のすすめ

趣旨: 私たちは一日の多くの時間を「室内」で過ごしています。室内環境学会では、快適で健康な室内環境を創るため様々な学問分野の研究者・実務者が集まり幅広く意見交換しています。この度、室内環境に関わる疾病・健康、化学物質、微生物・昆虫、エネルギー問題などについて基礎から最新の話題までをわかりやすく解説する公開講座を開講することになりました。室内環境学会の会員に限らず、一般・学生の皆様にも広く公開します。ご参加を心からお待ちしております。

プログラム: 趣旨説明・司会 関根嘉香(東海大学理学部)

講演1:「医学と室内環境:疾病予防と健康の維持増進」

東 賢一(近畿大学医学部)

講演2:「建築と室内環境:省エネ型健康快適空間について」

山口 一(清水建設)

講演3:「生物と室内環境:暮らしの中のカビ・ダニ・昆虫」

川上裕司(エフシージー研究所)

講演4:「化学と室内環境:身の回りの化学物質と生活」

野口美由貴(成蹊大学理工学部)

参加費: 無料

事前予約: 不要

【研究発表プログラム】

ポスター発表 《12月15日 9:30～12:00》

座長 篠原 直秀(産業技術総合研究所) 《9:30～10:15》

- P-01 室内環境中におけるピレスロイド系殺虫剤の揮散と吸着に関する研究
○三宅優子¹⁾、三村一成¹⁾、蒲生啓司²⁾
1)高知大学教育学部 2)高知大学複合領域科学部門
- P-02 ラットにおける含フッ素ピレスロイド剤メフルリン、プロフルリンおよびトランスフルリンの尿中代謝物の同定と定量法
○吉田俊明
大阪府立公衆衛生研究所
- P-03 駅トイレの臭気対策に関する研究(その1)
○潮木知良¹⁾、川崎たまみ¹⁾、京谷 隆¹⁾、早川敏雄¹⁾、亀田暁子²⁾、坂本圭司²⁾
1)(公財)鉄道総合技術研究所 生物学研究室 2)東日本旅客鉄道(株)研究開発センター
- P-04 駅トイレの臭気対策に関する研究(その2)
○川崎たまみ¹⁾、京谷 隆¹⁾、潮木知良¹⁾、早川敏雄¹⁾、亀田暁子²⁾、坂本圭司²⁾
1)(公財)鉄道総合技術研究所 生物学研究室 2)東日本旅客鉄道(株)研究開発センター
- P-05 精白米を指標とした殺虫剤成分の室内汚染状況調査
○和平亜樹、福田祥子、吉田精作
武庫川女子大学大学院
- P-06 自動車室内空気中の有機リン系難燃剤の測定
○杉寄佑樹¹⁾、上村 仁²⁾、辻 清美²⁾、中島大介³⁾、兼島公香¹⁾、後藤純雄¹⁾
1)麻布大学 2)神奈川県衛生研究所 3)国立環境研究所
- P-07 冬季における室内環境中のガス状汚染物質実態調査
○菱木麻佑²⁾、内山茂久¹⁾、富澤卓弥¹⁾、所 翌萌¹⁾、太田和司¹⁾、稲葉洋平¹⁾、後藤純雄²⁾、櫻田尚樹¹⁾
1)国立保健医療科学院 2)麻布大学
- P-08 灯油漏れによる室内空気汚染事例におけるアルカン類濃度
○武内伸治、小林 智、神 和夫、小島弘幸
北海道立衛生研究所
- P-09 アンケート調査を利用した暴露評価 -難燃剤含有カーテンからの暴露評価事例-
○光崎 純¹⁾、中村 淳¹⁾、川崎裕之²⁾、玉造晃弘¹⁾、桑 詩野¹⁾、山田亜矢¹⁾、村田麻里子¹⁾、澤田光博¹⁾、篠崎裕哉³⁾、東野晴行³⁾
1)独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 化学物質管理センター
2)独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 北陸支所
3)独立行政法人 産業技術総合研究所 (AIST)

- P-10 分子拡散型パッシブ・サンプラーによる居住環境中の窒素酸化物 (NO_x) 濃度の測定
 ○相馬 亮¹⁾、関根嘉香¹⁾、熊坂美前²⁾
 1)東海大学理学部化学科 2)東海大学大学院理学研究科化学専攻
- P-11 喫煙室内の付着たばこ煙に由来する化学成分の2次放散速度に関する事例研究
 ○浅井琢也、野田一隆、小瀧美里、小俣行雄
 日本たばこ産業株式会社
- P-12 住宅内におけるチャタテムシ・ダニ・カビなどアレルギー原因生物の分布調査
 ○川上裕司¹⁾、橋本一浩¹⁾、福富友馬²⁾、谷口正実²⁾、中島麻諭子¹⁾、福田安住¹⁾、秋山一男²⁾
 1)株式会社エフシー総合研究所環境科学研究室 2)国立病院機構相模原病院臨床研究センター
- P-13 微生物由来揮発性有機化合物 (MVOC) の室内空气中濃度
 ○武内伸治、小島弘幸、小林 智
 北海道立衛生研究所
- P-14 室内外のスギ花粉とスギ花粉個人曝露量
 ○松木秀明¹⁾、山本尚理²⁾、横山公通³⁾、丸田未希¹⁾
 1)東海大学 2)ソウル大学 3)神奈川県立保健福祉大学
- P-15 室内気流及び花粉挙動シミュレーションソフトウェアの開発
 ○橋本明憲、高橋俊樹
 群馬大学大学院

座長 中村 亜衣(株式会社ガステック) 《10:15～11:03》

- P-16 ホルムアルデヒド測定用 2,4-ペンタンジオン含浸シリカゲル捕集剤に関する研究(1)
 ○永倉望夢¹⁾、松村年郎¹⁾、吉川賢治¹⁾、森田孝節¹⁾、櫻川昭雄¹⁾、青柳玲児²⁾、中村亜衣²⁾、
 松延邦明²⁾
 1)日本大学 2)(株)ガステック
- P-17 ホルムアルデヒド測定用 2,4-ペンタンジオン含浸シリカゲル捕集剤に関する研究(2)
 ○鈴木恵子¹⁾、松村年郎¹⁾、吉川賢治¹⁾、森田孝節¹⁾、櫻川昭雄¹⁾、青柳玲児²⁾、山下浩平²⁾、
 中村亜衣²⁾、松延邦明²⁾
 1)日本大学 2)(株)ガステック
- P-18 室内空气中的有機酸及びアルデヒド類の高速液体クロマトグラフィーによる定量
 ○清水菜保¹⁾、松村年郎¹⁾、今中努志²⁾、吉川賢治¹⁾、森田孝節¹⁾、櫻川昭雄¹⁾
 1)日本大学 2)ジーエルサイエンス(株)
- P-19 DNPH パッシブサンプラーの高感度化
 ○田中文字子¹⁾、平野純子¹⁾、霜村浩一¹⁾、榎本孝紀¹⁾、小山博巳¹⁾、松村年郎²⁾
 1)柴田科学株式会社 2)日本大学理工学部

- P-20 パッシブサンプラーを活用した総揮発性有機化合物(TVOC)測定法の開発
○山田智美、瀬戸 博、千代田守弘、清水隆浩、今澤 剛、箭内慎吾
(財)東京顕微鏡院
- P-21 各種揮発性有機化合物暴露試験によるパッシブサンプラーのサンプリングレート算出(第2報)
○石坂閣啓¹⁾、川嶋文人²⁾
1)三浦工業株式会社 2)愛媛大学農学部
- P-22 吸着抽出デバイスを用いた放散化学物質のパッシブフラックス測定法の検討
○青木幸生
兵庫県立健康生活科学研究所
- P-23 ガスチューブの溶媒抽出時間短縮に関する検討
○福島靖弘¹⁾、鈴木義浩¹⁾、榎本孝紀¹⁾、直井知之²⁾、三宅祐一²⁾、雨谷敬史²⁾
1)柴田科学株式会社 2)静岡県立大学
- P-24 活性炭捕集・二硫化炭素抽出/GC-MS を用いた室内空气中のスチレンの定量法
○齋藤 翔、松村年郎、吉川賢治、森田孝節、櫻川昭雄
日本大学
- P-25 SPME を用いた空气中的ニトロソアミンの定量法 ―加熱脱着法―
○浅井慎平、松村年郎、吉川賢治、森田孝節、櫻川昭雄
日本大学
- P-26 室内空气中 VOC 構成成分のクラスター分析
○岡元陽子、香川(田中)聡子、五十嵐良明、神野透人
国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部
- P-27 半導体センサを内蔵したリアルタイムモニタによる住居内の TVOC 濃度の連続モニタリング
○那須愛子、石田尾 徹、石松維世、笛田由紀子、樋上光雄、保利 一
産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科
- P-28 半導体ガスセンサー方式 TVOC モニターを用いた室内空气中の TVOC 測定結果について
○高松和子¹⁾、松村年郎²⁾、斉藤 翔²⁾、鈴木恵子²⁾、瀬戸口泰弘³⁾、永倉望夢²⁾、清水菜穂²⁾、
浅井慎平²⁾、桑高 誠³⁾
1)クミケン(株) 2)日本大学 3)フィガロ技研(株)
- P-29 噴霧および捕集プロセスが与える熱損傷菌への影響
○入江香成美、長谷川倫男
アズビル株式会社
- P-30 環境中スギアレレルゲンの計測
○片山秀夫¹⁾、高橋淳子²⁾、岸本敏始¹⁾、新沼 仁¹⁾、高津章子²⁾
1)日本無機株式会社 2)独立行政法人産業技術総合研究所

- P-31 揮発性有機化合物(VOCs)の海洋性発光バクテリア *Vibrio fischeri* に対するシナジー効果およびホルミシス効果
○関根嗣晃¹⁾、関根嘉香¹⁾、池田四郎²⁾
1)東海大学大学院理学研究科 2)東海大学大学院地球環境科学研究科

座長 吉田 俊明(大阪府立公衆衛生研究所) 《11:03~12:03》

- P-32 フタル酸エステル類の気道刺激性に関する研究
○香川(田中)聡子¹⁾、大河原 晋²⁾、岡元陽子¹⁾、五十嵐良明¹⁾、神野透人¹⁾
1)国立医薬品食品衛生研究所 2)九州保健福祉大学
- P-33 アレルギー喘息モデルマウスにおけるフタル酸エステル類曝露が神経・免疫バイオマーカーの発現に及ぼす影響
○Tin Tin Win Shwe¹⁾、柳澤利枝¹⁾、小池英子¹⁾、中島大介¹⁾、高野裕久²⁾、新田裕史¹⁾
1)国立環境研究所 2)京都大学
- P-34 脂肪酸塩による白癬菌の制御
○恵良真理子¹⁾、鷺巢 孝¹⁾、川原貴佳²⁾、完山陽秀²⁾、二宮純子¹⁾、森田 洋³⁾
1)北九大院・国際環境工 2)シャボン玉石けん株式会社 3)北九大・国際環境工
- P-35 居住空間におけるスギ材の心理的及び生理的効果に関する研究—スギ材設置が疲労回復に及ぼす影響の検討—
○萬羽郁子¹⁾、東 賢一¹⁾、藤田佐枝子²⁾、辻野喜夫³⁾、上堀美知子³⁾、木村彰孝⁴⁾、仲村匡司⁵⁾、甲田勝康¹⁾、川井秀一⁶⁾
1)近畿大学医学部 2)ホームアイ 3)大阪府環境農林水産総合研究所 4)長崎大学教育学部
5)京都大学大学院農学研究科 6)京都大学生存圏研究所
- P-36 フィルム保管庫における酢酸雰囲気改善(2)
○古田嶋智子、呂 俊民、佐野千絵
独立行政法人 東京文化財研究所
- P-37 文化財施設・図書館で用いる合板と収蔵ラックの空気環境評価
○呂 俊民¹⁾、古田嶋智子¹⁾、林 良典²⁾、大橋菜都子³⁾、板谷敏弘³⁾、佐野千絵¹⁾
1)東京文化財研究所 2)岡村製作所 3)東京都美術館
- P-38 自然塗料からのアルデヒド類放散の低減化 -原料の検討-
○古賀賢一
福岡県工業技術センター
- P-39 放射線共重合技術を活用したホルムアルデヒド吸着壁紙に関する研究
○笈川大介¹⁾、道津 隆²⁾、進藤泰介²⁾、関根嘉香³⁾
1)AIREX 株式会社 2)グラフトン株式会社 3)東海大学大学院地球環境科学研究科

- P-40 表面処理セルロースファイバーを用いた花粉除去フィルタの開発
○森川 豊¹⁾、伊藤雅子¹⁾、西崎佳紀²⁾、榎田慎一³⁾
1)あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
2)エーエフ工業株式会社 3)吉田機械興業株式会社
- P-41 くん煙方法を用いた銀の処理による浴室カビの抑制効果に関する研究
○山岸 弘¹⁾、泉川洋亮¹⁾、渡部美香¹⁾、長谷川貴通¹⁾、田中孝祐¹⁾、李憲俊²⁾
1)ライオン(株)リビングケア研究所 2)㈱衛生微生物研究センター
- P-42 金属担持酸化チタンによるレジオネラの抗菌効果と浴室環境への応用
○森田 洋¹⁾、山平真由¹⁾、田部井陽介¹⁾、恵良真理子²⁾、二宮純子²⁾
1)北九州市立大学国際環境工学部 2)北九州市立大学大学院国際環境工学研究科
- P-43 フェントン反応を用いた抗カビ剤の開発
○徳村雅弘¹⁾、風間美冴²⁾、橋本一浩³⁾、関根 真¹⁾、川上裕司³⁾、篠原直秀⁴⁾
1)横浜国立大学 2)東洋大学 3)(株)エフシージー総合研究所 4)産業総合技術研究所
- P-44 3次元 Si/SiC 網目構造体を基材とする空气中アルデヒド除去フィルターの開発
○長岡優輝¹⁾、関根嘉香¹⁾、生田博美²⁾
1)東海大学理学部化学科 2)東洋興商株式会社
- P-45 酸化分解式空気清浄機で生成する不完全酸化生成物の測定
○畑山瑠莉香¹⁾、徳村雅弘²⁾、益永茂樹²⁾
1)横浜国立大学大学院環境情報学府 2)横浜国立大学大学院環境情報研究院
- P-46 酸化チタンを担持した石英繊維製フィルターによるエアロゾル粒子の無毒化
○本橋一真¹⁾、関根嗣晃¹⁾、池田四郎²⁾、Thanongsak NOCHAIYA³⁾、関根嘉香¹⁾、坂部 貢⁴⁾
1)東海大学大学院・理 2) 東海大学大学院・地球環境 3)Naresuan University
4)東海大学・医
- P-47 燃焼器具分科会活動報告
○野崎淳夫、林 基哉、成田泰章、北條祥子、一條佑介、二科妃里、吉野 博
- P-48 化学物質分科会活動報告
○関根嘉香、呂 俊民、岸 秀子、小座野貴弘、渡邊文雄、篠原直秀、井手口真澄、
笈川大介、有賀正敏、野口美由貴、須藤伸夫、池田絢子、池田四郎、高橋万葉
- P-49 微生物分科会活動報告
○須山祐之、川上裕司、阿部恵子、永安克志、山岸 弘、川崎たまみ、埋橋英夫、池田耕一、
岡本誉士夫、佐野千絵、伊藤 昭、宮崎裕樹、木川りか、狩野文雄、齊藤 智、山下信彦、
篠原克明、成 旻起、石井利明、橋本一浩、仲田幸博、八重樫幸栄、鈴木博、竹内史朗、
山田浩一郎、白井秀治、横山辰巳、色摩 操、齊藤宏之、水越厚史、片岡千和、石松維世、
村田朋美、渡辺幸吉、近藤 高規、土屋 禎、武廣絵里子、中津川直樹

P-50 地域文化財保全分科会活動報告(1) 地域文化財保全モデル

○阿部 恵子、村田 朋美、田中健治、増子昇、島ノ江憲剛、西山要輔、森容子、川上裕司、永安克志

P-51 地域文化財保全分科会活動報告(2) 保存袋の素材が内部のカビ発育に与える影響

○阿部 恵子、村田 朋美、田中健治、増子昇、島ノ江憲剛、西山要輔、森容子、川上裕司、永安克志

口頭発表 《12月16日 9:00～12:00 13:00～16:00 大講堂》

【ハウスダスト・微生物】

座長 鍵 直樹(国立保健医療科学院) 《9:00～10:00》

- A-01 愛知県の一般住宅におけるダニアレルゲンの実態調査
○小島美千代¹⁾、市古浩美¹⁾、椛島由佳¹⁾、小池恭子¹⁾、森下智雄¹⁾、須藤千春²⁾
1)愛知県衛生研究所 2)中部大学
- A-02 シリコン樹脂フローリング用コーティング材のハウスダスト付着性に関する研究 —その3
○岡本浩一¹⁾、池田四郎²⁾、関根嗣晃²⁾、関根嘉香²⁾
1)サンスター技研株式会社 2)東海大学大学院
- A-03 難燃加工製品に含まれるHBCDのハウスダストへの移行に関する研究
○栗原 勇、片岡敏行、片桐律子、和田丈晴
一般財団法人化学物質評価研究機構
- A-04 建材や家電製品中フタル酸エステルハウスダストへの直接移行量推定方法の検討
○恒見清孝¹⁾、田中浩史²⁾
1)産業技術総合研究所 2)三菱化学アナリティック

座長 須山 祐之(東京医科歯科大学) 《10:00～11:00》

- A-05 海洋性発光細菌の生物発光阻害を利用したハウスダストのバイオモニタリング～生物発光量の経時変化の解析～
○池田四郎¹⁾、関根嗣晃²⁾、関根嘉香¹⁾
1)東海大学大学院地球環境科学研究科 2)東海大学大学院理学研究科化学専攻
- A-06 海洋性発光細菌の生物発光阻害を利用した室内浮遊粉じんのバイオモニタリング～生物発光量の経時変化の解析～
○池田四郎¹⁾、関根嗣晃²⁾、関根嘉香¹⁾
1)東海大学大学院地球環境科学研究科 2)東海大学大学院理学研究科化学専攻
- A-07 室内環境に分布する *Aspergillus section Circumdati* の分子系統解析による分類とオクラトキシン類産生性
○橋本一浩¹⁾、川上裕司¹⁾、横山耕治²⁾、浅野勝佳³⁾、陰地義樹³⁾、高橋治男⁴⁾
1)株式会社エフシー総合研究所環境科学研究室 2)千葉大学真菌医学研究センター
3)奈良県保健環境研究センター 4)国立医薬品食品衛生研究所
- A-08 屋内外の浮遊微生物濃度と細菌種についての検討
○石松維世¹⁾、石田尾 徹¹⁾、笛田由紀子¹⁾、樋上光雄¹⁾、谷口初美²⁾、保利 一¹⁾
1)産業医科大学 産業保健学部 作業環境計測制御学 2)同 医学部 微生物学

座長 橋本 一浩(株式会社エフシージー総合研究所) 《11:00～12:00》

- A-09 歯科診療室にて検出される空中浮遊細菌叢について
○須山祐之¹⁾、梨本正憲²⁾
1)東京歯科大学衛生学講座 2)総合インプラント研究センター
- A-10 内装材の調湿性能がカビ発育に与える影響
○阿部恵子
環境生物学研究所
- A-11 大気圧マイクロプラズマ処理による表面付着菌に与える影響
○立松成基、Marius Blajan、清水一男
静岡大学 イノベーション社会連携推進機構
- A-12 塩素系薬剤を用いた微生物対策(第11報)積算薬剤沈着量による殺菌性能の予測
○山口 一、伊澤康一、富岡一之
清水建設

【VOCs・放射性物質】

座長 斎藤 育江(東京都健康安全研究センター) 《13:00～14:00》

- A-13 ヒト皮膚から放散するアセトンの室内空気質に及ぼす影響
○高橋万葉¹⁾、関根嘉香¹⁾、古川英伸¹⁾、浅井さとみ²⁾、宮地勇人²⁾
1)東海大学大学院理学研究科 2)東海大学医学部
- A-14 ヒト皮膚から放散するアンモニアの室内拡散濃度の推定
○古川英伸¹⁾、関根嘉香¹⁾、高橋万葉¹⁾、浅井さとみ²⁾、宮地勇人²⁾
1)東海大学大学院理学研究科 2)東海大学医学部
- A-15 バイオセンサを用いたホルムアルデヒド測定器の開発
○和田俊明¹⁾、左成信之¹⁾、小山博巳¹⁾、月精智子^{2,3)}、紋川 亮²⁾、工藤寛之³⁾、三林浩二³⁾
1)柴田科学(株) 2)東京都立産業技術研究センター 3)東京医科歯科大学
- A-16 繊維製品から発せられるホルムアルデヒドのスクリーニング方法
○河上由行¹⁾、丸尾容子^{1,2)}、中川太郎³⁾
1)金沢大学 2)NTT 環境エネルギー研究所 3)神栄テクノロジー株式会社

座長 呂 俊民(東京文化財研究所) 《14:00～15:00》

- A-17 パーミエーションチューブ法によるアセトアルデヒドの安定発生
○青柳玲児、海福雄一郎、松延邦明、若山雅彦
株式会社ガステック
- A-18 強制送風方式パッシブサンプラー(セミアクティブサンプラー)の基礎検討(第3報)高捕集効率化の検討
○鈴木義浩、霜村浩一、榎本孝紀、小山博巳
柴田科学株式会社

- A-19 節電下の夏期オフィス環境における温湿度と自覚症状
○齊藤宏之¹⁾、澤田晋一¹⁾、安田彰典¹⁾、岡 龍雄¹⁾、萩原正義¹⁾、田井鉄男¹⁾、加部 勇²⁾、幸地 勇²⁾、長埜庸子³⁾、門田美子³⁾、村上朋子³⁾
1)独立行政法人労働安全衛生総合研究所 2)古河電気工業 3)ヒューレット・パッカー
- A-20 応急仮設住宅の室内空気環境に関する研究
野崎淳夫¹⁾、○一條佑介²⁾、柳 宇³⁾、鍵 直樹⁴⁾、成田泰章⁵⁾、角間隆之⁶⁾、二科妃里²⁾、吉野 博⁷⁾
1)東北文化学園大学大学院 2)東北文化学園大学 3)工学院大学 4)東京工業大学
5)暮らしの科学研究所 6)東北大学大学院 7)東北大学

座長 東 賢一(近畿大学) 《15:00~16:00》

- A-21 放射性物質による環境汚染とその対策技術に関する研究(その7)
○角間隆之¹⁾、成田泰章²⁾、國井佳祐³⁾、野崎淳夫⁴⁾、吉野 博⁵⁾
1)東北大学大学院 2)暮らしの科学研究所 3)東北文化学園大学 4)東北文化学園大学大学院 5)東北大学
- A-22 放射性物質による環境汚染とその対策技術に関する研究(その8)
○野崎淳夫¹⁾、成田泰章²⁾
1)東北文化学園大学大学院 2)暮らしの科学研究所
- A-23 放射性物質による環境汚染とその対策技術に関する研究(その9)
野崎淳夫¹⁾、○成田泰章²⁾、國井佳祐³⁾
1)東北文化学園大学大学院 2)暮らしの科学研究所 3)東北文化学園大学
- A-24 東日本大震災の居住制限区域の住宅におけるカビの発生状況の把握
○篠原直秀¹⁾、橋本一浩²⁾、風間美冴³⁾、関根 真⁴⁾、徳村雅弘⁴⁾、川上裕司²⁾
1)産業総合技術研究所 2)(株)エフシージー総合研究所 3)東洋大学 4)横浜国立大学

口頭発表 《12月16日 13:00～16:00 1203 教室》

【におい・SVOC・無機ガス・二次粒子】

座長 一條 佑介(東北文化学園大学) 《13:00～14:00》

- B-01 トイレ空間における臭気物質汚染とその対策技術性能の実態に関する研究(その6)
野崎淳夫¹⁾、○二科妃里²⁾、狩野雅大²⁾
1)東北文化学園大学大学院 2)東北文化学園大学
- B-02 直接希釈による臭気濃度測定法の開発
○村上栄造¹⁾、祐川英基²⁾
1)株式会社朝日工業社 技術研究所 2)祐川環境カンファレンス株式会社
- B-03 臭気閾値比を使用した新しい室内空気質の評価方法の提案
○中岡宏子^{1,2)}、瀬戸 博³⁾、戸高恵美子^{1,2)}、花里真道^{2,4)}、森 千里^{1,2)}
1)千葉大学大学院医学研究院環境生命学 2)千葉大学予防医学センター 3)財団法人東京
顕微鏡院 4)千葉大学大学院工学研究科
- B-04 家庭用冷蔵庫内のアセトアルデヒドが室内環境におよぼす影響
○村田真一郎¹⁾、関根嘉香¹⁾、佛願道男²⁾
1)東海大学大学院地球環境科学研究科 2)日立化成テクノサービス株式会社

座長 小林 智(北海道立衛生研究所) 《14:00～15:00》

- B-05 建材表面からのヘキサブromシクロドデカン(HBCD)放散速度測定
○片岡敏行^{1,2)}、栗原 勇¹⁾、片桐律子¹⁾、和田丈晴¹⁾、益永茂樹²⁾
1)一般財団法人化学物質評価研究機構 2)横浜国立大学大学院環境情報学府・研究院
- B-06 市販製品に含有される残留性有機フッ素化合物の直接曝露とリスク評価
○小谷健輔、Ye Feng、益永茂樹
横浜国立大学大学院 環境情報学府・研究院
- B-07 室内空気中 SVOC の測定に関する検討
○メリキザット アブラト、藤井修二、鍵 直樹
東京工業大学大学院 情報理工学研究科
- B-08 回転式ディスクを用いたニコチン測定用サンプラーの検討
○斎藤育江、大貫 文、保坂三継、中江 大
東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部

座長 光崎 純(製品評価技術基盤機構) 《15:00～16:00》

- B-09 環境鑑識学的アプローチに基づく窒素酸化物の発生・挙動に関する室内環境教育の実践
○熊坂美前¹⁾、関根嘉香¹⁾、相馬 亮²⁾、池田四郎³⁾
1)東海大学大学院理学研究科化学専攻 2)東海大学理学部化学科 3)東海大学大学院地球
環境科学研究科地球環境科学専攻

- B-10 α -ピネンのオゾン分解による二次生成物質および微小粒子の生成 -一酸化窒素共存の影響-
○野口美由貴、大澤春香、小松志織、山崎章弘
成蹊大学理工学部 物質生命理工学科
- B-11 室内空気中で二次生成する粒子状ギ酸の生成メカニズムの解明
○梶原孝徳、関根嘉香
東海大学大学院理学研究科
- B-12 平成 24 年度室内環境学会学術大会学生懇談会実施報告
○高橋万葉¹⁾、高野大地²⁾
1)東海大学大学院理学研究科 2)日本大学大学院理工学研究科

【International Symposium】

Date: Saturday, December 15, 2012, 15:00-17:30

Room: Main Hall

Theme: Knowledge Communication beyond Borders

This international symposium is held a kick off meeting based on the Memorandum of Understanding (MOU) agreed by Korean Society for Indoor Environment (KOSIE), Taiwan Society of Indoor Environmental Quality (TSIEQ) and Society of Indoor Environment, Japan (SIEJ).

Program: 1. Opening remarks

2. Keynote talk

Ono Masashi (President of SIEJ, National Institute for Environmental Studies)

3. Recent Policies and Research Activities on Indoor Environment in Korea

Yoon Dong-Won, Ph. D.

President, Korea Society of Indoor Environment (KOSIE)

Professor, Gachon University Korea.

4. Indoor Air Quality Management in Taiwan: Development, Current status, and Future perspectives

Lee Chia-Wei, Ph.D.

Executive Director, Taiwan Society of Indoor Environmental Quality (TSIEQ)

Associate Professor, National Kaohsiung First University of Science and Technology

5. Trends and Emerging Indoor Environment Issues in Japan - Based upon 17 Years Experiences of the Society of Indoor Environment, Japan (SIEJ)

Nakai Satoshi, Dr. of Health Sciences

Vice President, Society of Indoor Environment, Japan (SIEJ)

Professor, Yokohama National University

6. Panel discussion

Coordinated by Sekine Yoshika, Ph. D.

Chair, 2012 Annual Meeting of SIEJ

Professor, Tokai University

7. Closing remarks

Language code:

English

【Student Meeting】

Date: Saturday, December 15, 2012, 13:00-14:30

Room: Room 1203

Theme: Borderless Discussion by Students

Chair: Kazuyo Takahashi (Student member, Graduate School of Science, Tokai University)
Daichi Takano (Student member, Graduate School of Science and Technology, Nihon University)

Program:

1. Opening remarks by chair
2. Self-Introduction by participants
3. Group discussion
 - 1) Group organizing
 - 2) Group discussion by KJ method
4. Presentation by each group
5. Concluding remarks

* This is a luncheon style meeting. No registration is required in advance.

【Public Lecture / Open Forum】

- Date:** Sunday, December 16, 2012, 16:30-18:30
- Room:** Main Hall
- Theme:** An Encouragement of Indoor Environment Sciences
- Chair:** Yoshika Sekine (Tokai University / Chair of the 2012 Annual Meeting of Society of Indoor Environment, Japan)
- Program:** Opening remarks by chair
- Lecture 1: Medical Science and Indoor Environment
Kenichi Azuma (Faculty of Medicine, Kinki University)
- Lecture 2: Architecture and Indoor Environment
Makoto Yamaguchi (Shimizu Corp.)
- Lecture 3: Biology and Indoor Environment
Yuji Kawakami (FCG Research Institute, Inc.)
- Lecture 4: Chemistry and Indoor Environment
Miyuki Noguchi (Faculty of Science and Technology, Seikei University)

【Scientific Program】

Poster Session 《Main Hall : December 15, 9:30~12:00》

Chair Naohide Shinohara 《9:30~10:15》

- P-01 Adsorption and Desorption of Pyrethroid Insecticides in an Indoor Environment
○Yuko Miyake¹⁾, Kazunari Mimura¹⁾, Keiji Gamoh²⁾
1) Faculty of Education, Kochi University 2) Division of Interdisciplinary Science, Kochi University
- P-02 Identification and Quantification of Urinary Metabolites in Rats Administered Fluorine-Containing Pyrethroids, Metofluthrin, Profluthrin and Transfluthrin
○Toshiaki Yoshida
Osaka Prefectural Institute of Public Health
- P-03 Research on countermeasures to reduce unpleasant odors in toilets of railway stations (Part1)
○Tomoyoshi Ushio¹⁾, Tamami Kawasaki¹⁾, Takashi Kyotani¹⁾, Toshio Hayakawa¹⁾, Akiko Kameda²⁾, Kiyoshi Sakamoto²⁾
1) Railway Technical Research Institute, Biotechnology 2) Research & Development Center, East Japan Railway Company
- P-04 Research on countermeasures to reduce unpleasant odors in toilets of railway stations (part 2)
○Tamami Kawasaki¹⁾, Takashi Kyotani¹⁾, Tomoyoshi Ushio¹⁾, Toshio Hayakawa¹⁾, Akiko Kameda²⁾, Kiyoshi Sakamoto²⁾
1) Railway Technical Research Institute, Biotechnology 2) Research & Development Center, East Japan Railway Company
- P-05 Insecticide residues in polished rice as indicator of indoor pollution
○Aki Wahei, Shoko Fukuda, Seisaku Yoshida
Mukogawa Women's University
- P-06 Analysis of organophosphate flame retardants in the cars
○Yuki Sugizaki¹⁾, Hiroshi Uemura²⁾, Kiyomi Tsuji²⁾, Daisuke Nakajima³⁾, Kimika Kaneshima¹⁾, Sumio Goto¹⁾
1) Azabu University 2) Kanagawa Prefectural Institute of Public Health 3) National Institute for Environmental Studies
- P-07 Characteristics of indoor gaseous air pollutants in winter
○Mayu Hishiki²⁾, Shigehisa Uchiyama¹⁾, Takuya Tomizawa¹⁾, Asumo Tokoro¹⁾, Kazushi Ohta¹⁾, Yohei Inaba¹⁾, Sumio Goto²⁾, Naoki Kunugita¹⁾
1) National Institute of Public Health 2) Azabu University

- P-08 Concentration of Alkanes in Indoor Air in Accidents of Kerosene Leaking
○Shinji Takeuchi, Satoshi Kobayashi, Kazuo Jin, Hiroyuki Kojima
Hokkaido Institute of Public Health
- P-09 Exposure assessment using questionnaire survey -Case study; Exposure assessment of fireproofing curtain-
○Jun Kohzaki¹⁾, Jun Nakamura¹⁾, Hiroyuki Kawasaki²⁾, Akihiro Tamatsukuri¹⁾, Shino Kuwa¹⁾, Aya Yamada¹⁾, Mariko Murata¹⁾, Mitsuhiro Sawada¹⁾, Hiroya Shinozaki³⁾, Haruyuki Higashino³⁾
1) National Institute of Technology and Evaluation (NITE) Chemical Management Center
2) National Institute of Technology and Evaluation (NITE) Hokuriku Regional Office
3) National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)
- P-10 Measurement of air concentrations of nitrogen oxides in living environment by passive sampler
○Ryo Soma¹⁾, Yoshika Sekine¹⁾, Misaki Kumasaka²⁾
1) School of Science, Tokai University 2) Graduate School of Science, Tokai University
- P-11 The case study on the secondary emission rate of chemical compounds derived from deposited tobacco smoke on walls of the smoking room
○Takuya Asai, Kazutaka Noda, Misato Kotaki, Yukio Omata
Japan Tobacco Inc.
- P-12 Distribution investigation in residences of allergenic organism such as booklice, housedust mites and fungi
○Yuji Kawakami¹⁾, Kazuhiro Hashimoto¹⁾, Yuma Fukutomi²⁾, Masami Taniguchi²⁾, Mayuko Nakajima¹⁾, Azumi Fukuda¹⁾, Kazuo Akiyama²⁾
1) Laboratory of Environmental Science, FCG Research Institute, Inc,
2) Clinical Research Center for Allergy and Rheumatology, National Hospital Organization, Sagamihara National Hospital
- P-13 Concentration of MVOCs in Indoor Air in Rooms Doubtful Microbial Pollution
○Shinji Takeuchi, Hiroyuki Kojima, Satoshi Kobayashi
Hokkaido Institute of Public Health
- P-14 Relationship among Cedar Pollens of Indoor and Outdoor Concentration, and Personal Exposure Level of Cedar Pollens
○Hideaki Matsuki¹⁾, Naomichi Yamamoto²⁾, Hiromichi Yokoyama³⁾, Miki Maruta¹⁾
1) Tokai University 2) Seoul National University 3) Kanagawa University of Human Services
- P-15 Development of the simulation software of air flow and pollen grains motion in indoor
○Akinori Hashimoto, Toshiki Takahashi
Graduate School of Gunma University

Chair Ai Nakamura 《10:15~11:03》

- P-16 The study on the 2,4-pentanedione impregnation silica gel scavenger for the formaldehyde measurement (1)
○Nozomu Nagakura¹, Toshiro Matsumura¹, Kenji Yoshikawa¹, Yukitoki Morita¹, Akio Sakuragawa¹, Reiji Aoyagi², Ai Nakamura², Kunitoshi Matsunobu²
1) Nihon University 2) Gastech Corporation
- P-17 The study on the 2,4-pentanedione impregnation silica gel scavenger for the formaldehyde measurement(2)
○Keiko Suzuk¹, Toshiro Matsumura¹, Kenji Yoshikawa¹, Akio Sakuragawa¹, Reiji Aoyagi², Kouhei Yamashita², Ai Nakamura², Kunitoshi Matsunobu²
1) Nihon University 2) Gastech Corporation
- P-18 The determination method of organic acid and aldehydes in indoor air using high performance liquid chromatography
○Naho Shimizu¹, Toshiro Matsumura¹, Tsutomu Imanaka², Kenji Yoshikawa¹, Yukitoki Morita¹, Akio Sakuragawa¹
1) NihonUniversity 2) GL Sciences Inc.
- P-19 High sensitivity of DNPH passive sampler
○Fumiko Tanaka¹, Junko Hirano¹, Koichi Shimomura¹, Takanori Enomoto¹, Hiromi Koyama¹, Toshiro Matsumura²
1) Sibata Scientific Technology LTD 2) Nihon University, College of Science and Technology
- P-20 Development of the Measuring Method for the Total Volatile Organic Compounds Using the Passive Sampler
○Tomomi Yamada, Hiroshi Seto, Morihiro Chiyoda, Takahiro Shimizu, Tsuyoshi Imazawa, Shingo Yanai
Tokyo Kenbikyo-in Foundation
- P-21 Experimental Determination of Sampling Rate for Passive Air Sampler by various VOCs exposure test(Part.2)
○Takahiro Ishizaka¹, Ayato Kawashima²
1) MIURA CO., Ltd 2) Faculty of Agriculture Ehime University
- P-22 Measurement of VOCs Emitted from Building Materials with Sportive Extraction Devices
Yukio Aoki
Hyogo Prefectural Institute of Public Health and Consumer Sciences
- P-23 A Study of shortening solvent extraction time of the gas tube
○Yasuhiro Fukushima¹, Yoshihiro Suzuki¹, Takanori Enomoto¹, Tomoyuki Naoi², Yuichi Miyake², Takashi Amagai²
1) Sibata Scientific Technology LTD 2) University of Shizuoka

- P-24 Analytical method of styrene in indoor air using charcoal tube collection/carbon disulfide extraction/GC-MS method
 ○Shou Saito, Toshiro Matsumura, Kenji Yoshikawa, Yukitoki Morita, Akio Sakuragawa
 Nihon University
- P-25 The determination method of nitrosoamine in the air using SPME—Thermal desorption method—
 ○Shinpei Asai, Toshiro Matsumura, Kenji Yoshikawa, Yukitoki Morita, Akio Sakuragawa
 Nihon University
- P-26 Cluster Analysis of Volatile Organic Compound (VOC) Components in the Indoor Air
 ○Yoko Okamoto, Toshiko Tanaka-Kagawa, Yoshiaki Ikarashi, Hideto Jinno
 Division of Environmental Chemistry, National Institute of Health Sciences
- P-27 Measurement of total volatile organic compounds concentration using a real-time monitor
 equipped with a semiconductor gas sensor in residence room
 ○Aiko Nasu, Toru Ishidao, Sumiyo Ishimatsu, Yukiko Fueta, Mitsuo Hinoue, Hajime Hori
 Department of Environmental Management, School of Health Sciences, University of Occupational
 and Environmental Health, Japan
- P-28 On the measurement result of TVOC in indoor air using TVOC monitor by the semiconductor gas
 sensor system
 ○Kazuko Takamatsu¹, Toshiro Matsumura², Yasuhiro Setoguchi³, Makoto Kuwataka¹,
 Sho Saito², Keiko Suzuki², Nozomu Nagakura², Sinpei Asai²
 1) Kumi-Ken corporation 2) Nihon University 3) Figaro Engineering Inc.
- P-29 Influence of Aerosolization and Capture Process to Heat Stressed Bacteria
 ○Kanami Irie, Norio Hasegawa
 Azbil Corporation
- P-30 Measurement of environmental Japanese cedar pollen allergen
 ○Hideo Katayama¹, Junko Takahashi², Satoshi Kishimoto¹, Hitoshi Niinuma¹, Akiko Takatsu²
 1) Nippon Muki Co.,Ltd 2) National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
- P-31 Synergistic and hormetic effects of volatile organic compounds on marine luminescent bacterium
Vibrio fischeri
 ○Hideaki Sekine¹, Yoshika Sekine¹, Shiro Ikeda²
 1) Course of Chemistry, Graduate School of Science, Tokai University 2) Graduate School of
 Earth and Environmental Sciences, Tokai University

Chair Toshiaki Yoshida 《11:10~12:03》

- P-32 Airway Irritation by Phthalates
 ○Toshiko Tanaka-Kagawa¹, Susumu Ohkawara², Yoko Okamoto¹, Yoshiaki Ikarashi¹,
 Hideto Jinno¹
 1) National Institute of Health Sciences 2) Kyusyu Univ. Health Welfare

- P-33 Expression of neuroimmune biomarkers in hypothalamus of allergic mice after early phthalate exposure
○Tin Tin Win-Shwe¹⁾, Rie Yanagisawa¹⁾, Eiko Koike¹⁾, Daisuke Nakajima¹⁾, Hirohisa Takano²⁾, Hiroshi Nitta¹⁾
1) National Institute for Environmental Studies 2) Kyoto University
- P-34 Control of fatty acid salts by *tinea* infections
○Mariko Era¹⁾, Takashi Washisu¹⁾, Takayoshi Kawahara²⁾, Takahide Kanyama²⁾, Junko Ninomiya¹⁾, Hiroshi Morita³⁾
1) Graduate School of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu
2) SHABONDAMA SOAP CO., LTD
3) Faculty of Environment Engineering, The University of Kitakyushu
- P-35 Effect of Emissions from Cedar on Psychological and Physiological Factors in an Indoor Environment—Examining the Influence of Cedar on Fatigue Recovery—
○Ikuko Bamba¹⁾, Kenichi Azuma¹⁾, Saeko Fujita²⁾, Yoshio Tsujino³⁾, Michiko Uebori³⁾, Akitaka Kimura⁴⁾, Masashi Nakamura⁵⁾, Katsuyasu Kouda¹⁾, Shuichi Kawai⁶⁾
1) Kinki University Faculty of Medicine 2) HOME AI Inc. 3) Research Institute of Environment, Agricultural and Fisheries, Osaka Prefectural Government 4) Faculty of Education, Nagasaki University 5) Graduate School of Agriculture, Kyoto University 6) Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University
- P-36 Study on Reduction of Acetic Acid from Microfilms (part2)
○Tomoko Kotajima, Toshitami Ro, Chie Sano
National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo
- P-37 Evaluation of air quality for plywood to use in rack in museum storage
○Toshitami Ro, Tomoko Kotajima, Ryousuke Hayashi, Natsuko Ohashi, Toshihiro Itaya, Chie Sano
National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, Okamura Corporation, Tokyo Metropolitan Art Museum
- P-38 Research for the reduction of aldehydes emission from natural paint —Examination of natural ingredients—
○Kenichi Koga
Fukuoka Industrial Technology Center
- P-39 Studies on the chemical adsorbent wall paper for formaldehyde using a radiation-induced copolymerization technology
○Daisuke Oikawa¹⁾, Takashi Dotu²⁾, Taisuke Sindo²⁾, Yoshika Sekine³⁾
1) AIREX INC. 2) GRAFTON INC. 3) Graduate School of Earth and Environmental Sciences, Tokai University

- P-40 Development of the Pollen Removal Filter Using Surface-Treated Cellulose Fiber
○Yutaka Morikawa¹⁾, Masako Ito¹⁾, Yoshinori Nishizaki²⁾, Shinichi Umeda³⁾
1) Aichi Center for Industry and Science Technology Industrial Research Center
2) A F Industry Co. Ltd 3) Yoshida Kikai Co. Ltd
- P-41 Study on the Inhibiting Effect of the Bathroom Mold by Processing of the Silver-ion using the Fumigation Method
○Hiroshi Yamagishi¹⁾, Yosuke Izumikawa¹⁾, Mika Watanabe¹⁾, Takayuki Hasegawa¹⁾, Kosuke Tanaka¹⁾, Hunjun Lee²⁾
1) Living Care Research Laboratories, LION Co., Ltd
2)Hygiene and Microbiology Research Center
- P-42 Antibacterial activity of metal-containing sulfur-doped titanium dioxide against *Legionella pneumophila* and its application in the indoor environment of the bathroom
○Hiroshi Morita¹⁾, Mayu Yamahira¹⁾, Yosuke Tabei¹⁾, Mariko Era²⁾, Junko Ninomiya²⁾
1) Faculty of Environment Engineering, The University of Kitakyushu
2) Graduate School of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu
- P-43 Anti-fungus agent based on Fenton reaction
○Masahiro Tokumura¹⁾, Misae Kazama²⁾, Kazuhiro Hashimoto³⁾, Makoto Sekine¹⁾, Yuji Kawakami³⁾, Naohide Shinohara⁴⁾
1) Yokohama National University 2) Toyo University 3) FCG Research Institute
4) National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)
- P-44 Development of novel air filters for removal of aldehydes employing Si/SiC porous ceramics
○Yuki Nagaoka¹⁾, Yoshika Sekine¹⁾, Hiromi Ikuta²⁾
1) Department of Chemistry, School of Science, Tokai University 2) Toyo Kosho
- P-45 Measurement of incompletely oxidized products from air cleaning device
○Rurika Hatayama¹⁾, Masahiro Tokumura²⁾, Shigeki Masunaga²⁾
1) Graduate School of Environment and Information Sciences, Yokohama National University
2) Faculty of Environment and Information Sciences, Yokohama National University
- P-46 Photocatalytic detoxification of aerosol particles in air by Titania-impregnated quartz fiber filter
○Kazuma Motohashi¹⁾, Hideaki Sekine¹⁾, Shiro Ikeda²⁾, Thanongsak Nochaiya³⁾, Yoshika Sekine¹⁾, Kou Sakabe⁴⁾
1) Graduate School of Science, Tokai University 2) Graduate School of Earth and Environmental Sciences, Tokai University 3) Naresuan University 4) School of Medicine, Tokai University
- P-47 Activity Report of Subcommittee of Combustion Appliances
○Atsuo Nozaki
Graduate School of Tohoku Bunka Gakuen University

- P-48 Activity Report of Subcommittee of Chemicals
○Yoshika Sekine
School of Science, Tokai University
- P-49 Activity Report of Subcommittee of Microbe
○Yuji Suyama
Department of Epidemiology and Public Health, Tokyo Dental College
- P-50 Activity Report of Subcommittee of Conserving Cultural Assets in Local Area (1)
—A preventive Model for Conservation of Cultural Assets—
○Keiko Abe
Institute of Environmental Biology
- P-51 Activity Report of Subcommittee of Conserving Cultural Assets in Local Area (2)
—Effect of Composing Material of Sealed Bags to Fungal Growth Inside—
○Keiko Abe
Institute of Environmental Biology

Oral Session 《Main Hall : December 16, 9:00~12:00, 13:00~16:00》

【House dust / Microorganisms】

Chair Naoki Kagi 《9:00~10:00》

- A-01 Survey of mite-allergens in private houses in Aichi Prefecture
○Michiyo Kojima¹⁾, Hiromi Ichigo¹⁾, Yuka Kabashima¹⁾, Yasuko Koike¹⁾, Toshio Morishita¹⁾, Chiharu Suto²⁾
1) Aichi Prefectural Institute of Public Health 2) Chubu University
- A-02 A Study on Trapping of House Dust by Silicone Polymer Coating for Wooden Flooring – Part3
○Hirokazu Okamoto¹⁾, Shiro Ikeda²⁾, Hideaki Sekine²⁾, Yoshika Sekine²⁾
1) Sunstar Engineering Inc. 2) Tokai University
- A-03 Study on mass-transfer of HBCD from flame retardant treated fabrics to house dust
○Isamu Kuribara, Toshiyuki Kataoka, Ritsuko Katagiri, Takeharu Wada
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan
- A-04 Examination of Diffusion of DEHP from Plastic Surface of Home Appliances and Constructions Directly into House Dust
○Kiyotaka Tsunemi¹⁾, Hirofumi Tanaka²⁾
1) National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)
2) Mitsubishi Chemical Analytech Co. Ltd.

Chair Yuji Suyama 《10:00~11:00》

- A-05 Biomonitoring of house dust by using bioluminescence inhibition of marine luminescent bacterium *Vibrio fischeri* – Analysis of time courses of bioluminescence intensity–
○Shiro Ikeda¹⁾, Hideaki Sekine²⁾, Yoshika Sekine¹⁾
1) Graduate School of Earth and Environmental Sciences, Tokai University
2) Course of Chemistry, Graduate School of Science, Tokai University
- A-06 Biomonitoring of indoor total suspended particles by using bioluminescence inhibition of marine luminescent bacterium *Vibrio fischeri* – Analysis of time courses of bioluminescence intensity–
○Shiro Ikeda¹⁾, Hideaki Sekine²⁾, Yoshika Sekine¹⁾
1) Graduate School of Earth and Environmental Sciences, Tokai University
2) Course of Chemistry, Graduate School of Science, Tokai University
- A-07 Genetic classifications and ochratoxins production of some *Aspergillus* section *Circumdati* isolated from indoors
○Kazuhiro Hashimoto¹⁾, Yuji Kawakami¹⁾, Koji Yokoyama²⁾, Katsuyoshi Asano³⁾, Yoshiki Onji³⁾, Haruo Takahashi⁴⁾
1) Laboratory of Environmental Science, FCG Research Institute, Inc
2) Medical Mycology Research Center, Chiba University
3) Nara Prefectural Institute for Hygiene and environment
4) National Institute of Health Sciences

A-08 A study on concentrations of airborne microorganisms and compositions of colonized bacteria in rooms and outside air

○Sumiyo Ishimatsu²⁾, Toru Ishida¹⁾, Yukiko Fueta¹⁾, Mitsuo Hinoue¹⁾, Hatsumi Taniguchi²⁾, Hajime Hori¹⁾

1) Department of Environmental Management, School of Health Sciences

2) Department of Microbiology, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Japan

Chair Kazuhiro Hashimoto 《11:00~12:00》

A-09 A study of air-borne bacteria in aerosol in dental treatment room

○Yuji Suyama¹⁾, Masanori Nashimoto²⁾

1) Department of Epidemiology and Public Health, Tokyo Dental College

2) General Implant Research Center

A-10 Effect of moisture control properties on interior materials to fungal growth

○Keiko Abe

Institute of Environmental Biology

A-11 Effect of Atmospheric Microplasma Treatment for Surface-associated Bacteria

○Shigeki Tatematsu, Marius Blajan, Kazuo Shimizu

Organization for Innovation and Social Collaboration, Shizuoka University

A-12 Examination of the Anti-microbe Measure with the Chlorine-based Chemicals Part 11. Prediction of the Sterilization Performance by Integrated Chemical Deposition Amount

○Makoto Yamaguchi, Koichi Isawa, Kazuyuki Tomioka

Shimizu Corp.

【VOCs / Radioactive substances】

Chair Ikue Saito 《13:00~14:00》

A-13 Influence of acetone emanating from human skin on the indoor air quality

○Kazuyo Takahashi¹⁾, Yoshika Sekine¹⁾, Hidenobu Furukawa¹⁾, Satomi Asai²⁾, Hayato Miyachi²⁾

1) Graduate School of Science, Tokai University 2) School of Medicine, Tokai University

A-14 Estimation of indoor air concentration of ammonia emanating from human skin

○Hidenobu Furukawa¹⁾, Yoshika Sekine¹⁾, Kazuyo Takahashi¹⁾, Satomi Asai²⁾, Hayato Miyachi²⁾

1) Graduate School of Science, Tokai University 2) School of Medicine, Tokai University

A-15 Development of the measuring device for formaldehyde using biosensor

○Toshiaki Wada¹⁾, Nobuyuki Sanari¹⁾, Hiromi Koyama¹⁾, Tomoko Gessei^{2,3)}, Akira Monkawa²⁾, Hiroyuki Kudo³⁾, Kohji Mitsubayashi³⁾

1) Sibata Scientific Technology, LTD.

2) Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute

3) Tokyo Medical and Dental University

- A-16 A screening method for detecting formaldehyde emitted from textile products
○Yoshiyuki Kawakami¹⁾, Yasuko Maruo^{1,2)}, Taro Nakagawa³⁾
1) University of Kanazawa 2) NTT Energy and Environment System Laboratories
3) Shinyei Technology Co., Ltd.

Chair Toshitami Ro 《14:00~15:00》

- A-17 Stable generation of acetaldehyde gas by permeation tube method
○Reiji Aoyagi, Yuichiro Kaifuku, Kunitoshi Matsunobu, Masahiko Wakayama
Gastec Corporation
- A-18 Study of new passive sampling method for VOC (Semi-Active Sampler). (Part 3) Development for Semi Active Sampler. About High Sampling Rate
○Yoshihiro Suzuki, Kouichi Shimomura, Takanori Enomoto, Hiromi Koyama
Sibata Scientific Technology Ltd.
- A-19 Thermal conditions and the relevant subjective symptoms in some summer office buildings under the power saving
○Hiroyuki Saito¹⁾, Shin-ich Sawada¹⁾, Akinori Yasuda¹⁾, Tatsuo Oka¹⁾, Masayoshi Hagiwara¹⁾, Tetsuo Tai¹⁾, Isamu Kabe²⁾, Takeshi Kochi²⁾, Yoko Nagano³⁾, Yoshiko Kadota³⁾, Tomoko Murakami³⁾
1) National Institute of Occupational Safety and Health, Japan 2) Furukawa Electric
3) Hewlett-Packard
- A-20 A study on indoor air environment of the house in stricken areas after the great east Japan earthquake in 2011
Atsuo Nozaki¹⁾, ○Yusuke Ichijo²⁾, U Yayagi³⁾, Naoki Kagi⁴⁾, Yasunori Narita⁵⁾, Takayuki Kakuma⁶⁾, Hisato Nishina⁷⁾, Hiroshi Yoshino⁸⁾
1) Graduate school of Tohoku Bunka Gakuen university 2) TohokuBunka Gakuen university
3) Kogakuin university 4) Tokyo Institute of Technology
5) Life Science Research Laboratory, Co., Ltd. 6) Graduate school of Tohoku university
7) Tohoku Bunka Gakuen university 8) Tohoku university

Chair Kenichi Azuma 《15:00~16:00》

- A-21 A Study on Environmental Pollution Caused by Radioactive Substances and its Countermeasure Techniques (Part 7)
○Takayuki Kakuma¹⁾, Yasunori Narita²⁾, Keisuke Kunii³⁾, Atsuo Nozaki⁴⁾, Hiroshi Yoshino⁵⁾
1) Graduate School of Tohoku University 2) Life Science Research Laboratory
3) Tohoku Bunka Gakuen University 4) Graduate School of Tohoku Bunka Gakuen University
5) TohokuUniversity
- A-22 A Study on Environmental Pollution Caused by Radioactive Substances and its Countermeasure Techniques (Part 8)
○Atsuo Nozaki¹⁾, Yasunori Narita²⁾
1) Graduate School of Health and Environment Sciences, Tohoku Bunka Gakuen University
2) Life Science Research Laboratory

- A-23 A Study on Environmental Pollution Caused by Radioactive Substances and its Countermeasure Techniques (Part 9)
 Atsuo Nozaki¹⁾, OYasunori Narita²⁾, Keisuke Kunii³⁾
 1) Graduate School of Health and Environment Sciences, Tohoku Bunka Gakuen University
 2) Life Science Research Laboratory 3) Tohoku Bunka Gakuen University
- A-24 Fungal levels in houses in the inhabitation-limit area of East Japan Earthquake
 ONaohide Shinohara¹⁾, Kazuhiro Hashimoto²⁾, Misae Kazama³⁾, Makoto Sekine⁴⁾,
 Masahiro Tokumura⁴⁾, Yuji Kawakami²⁾
 1) National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST) 2) FCG Research Institute 3) Toyo University 4) Yokohama National University

Oral Session 《Room 1203 : December 16, 13:00~16:00》

【Odor / SVOC / Inorganic gas / Secondary particles】

Chair Yusuke Ichijo 《13:00~14:00》

- B-01 Studies on the Odor Gas Pollution and Performance of Countermeasure Technology in the Toilet Space (Part 6)
 Atsuo Nozaki¹⁾, OHisato Nishina²⁾, Masahiro Karino²⁾
 1) Graduate school of Tohoku Bunka Gakuen university 2) Tohoku Bunka Gakuen university
- B-02 Development of an Odor Concentration Measuring Method Using Direct Dilution
 OEizo Murakami¹⁾, Hidemoto Sukekawa²⁾
 1) Research & Development Center, Asahi Kogyosha Co.,Ltd 2) Sukekawa Environmental Conference Co.,Ltd
- B-03 Anew evaluation methodof indoor air quality by using Odor Threshold Ratio
 OHiroko Nakaoka^{1,2)}, Hiroshi Seto³⁾, Emiko Todaka^{1,2)}, Masamichi Hanazato^{2,4)},
 Chisato Mori^{1,2)}
 1) Department of Bioenvironmental Medicine, Graduate School of Medicine, Chiba University
 2) Center for Preventive Medical Science, Chiba University 3) TokyoKenbikyoin Foundation
 4) Graduate School of Engineering, Chiba University
- B-04 Effects of acetaldehyde in air of household refrigerator on indoor environment
 OShinichiro Murata¹⁾, Yoshika Sekine¹⁾, Michio Butsugan²⁾
 1) Graduate School of Earth and Environmental Sciences, Tokai University
 2) Hitachi Chemical Techno Service Co., Ltd.

Chair Satoshi Kobayashi 《14:00~15:00》

- B-05 Emission Rates of Hexabromocyclododecane (HBCD) from the Surface of Building Materials
○Toshiyuki Kataoka^{1,2)}, Isamu Kuribara¹⁾, Ritsuko Katagiri¹⁾, Takeharu Wada¹⁾,
Shigeki Masunaga²⁾
1) Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan 2) Graduate School of Environment and
Information Sciences, Yokohama National University, Japan
- B-06 Direct exposure of perfluorinated compounds (PFCs) from commercial products and its risk
assessment
○Kensuke Kotani, Feng Ye, Shigeki Masunaga
Graduate School of Environment and Information Sciences, Yokohama National University
- B-07 Studies on the Presence of SVOC in Indoor Air
○Melikizat Ablat, Shuji Fujii, Naoki Kagi
1) Graduate School of Information Science and Engineering, Tokyo Institute of Technology
- B-08 Study of a new sampling device using rotating disk for nicotine measurement
○Ikue Saito, Aya Onuki, Mitsugu Hosaka, Dai Nakae
Tokyo Metropolitan Institute of Public Health, Department of Pharmaceutical and Environmental
Sciences

Chair Jun Kohzaki 《15:00~16:00》

- B-09 Practice of indoor environmental education on the emission and behavior of nitrogen oxides
based on Environmental Forensics
○Misaki Kumasaka¹⁾, Yoshika Sekine¹⁾, Ryo Soma²⁾, Shiro Ikeda³⁾
1) Graduate of School of Science, Tokai University 2) School of Science, Tokai University
3) Graduate School of Earth and Environmental Sciences, Tokai University
- B-10 The influence of nitrogen monoxide on generation of secondary organic compounds and fine
particles during α -pinene ozonolysis
○Miyuki Noguchi, Haruka Osawa, Shiori Komatsu, Akihiro Yamasaki
Faculty of Science and Technology, Seikei University
- B-11 Study on the production of particulate formate in indoor air
○Takanori Kajiwara, Yoshika Sekine
Graduate School of Science, Tokai University
- B-12 Report of Student Meeting held in 2012 Annual Meeting of SIEJ
○Kazuyo Takahashi, Daichi Takano
1) Graduate School of Science, Tokai University
2) Graduate School of Science and Technology, Nihon University